

第 27 回 国分川調節池を育む会

日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）午前 10 時～

場所：曾谷公民館 第 1、第 2 研修室

次 第

1. あいさつ

2. 下池での工事等について（千葉県・市川市）

【質疑応答】

3. 下池自然ふれあいゾーンについて

（1）自然ふれあいゾーンの設計について（市川市）

（2）検討部会による検討

（3）検討部会からの発表

（4）専門家による講評

（千葉県大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏）

4. 国分川調節池を育む会の今後について

（1）ヒアリング調査とアンケート結果について（市川市）

（2）専門家からの講義

（千葉県大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏）

【質疑応答】

5. 事務連絡

<資料>

- ・自然ふれあいゾーン設計図面一式

事務局（市川市役所 公園緑地課）

TEL：047-712-6367（直通）

FAX：047-712-6365

メール：midoriseibi2@city.ichikawa.chiba.jp

国分川調節池整備方針

○国分川調節池整備テーマ

人と生き物の輝く池を次の世代に手渡そう！

○整備基本方針

1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める

- ・洪水の危険から地域を守る治水機能を確保する。
- ・日常の利用により、治水の重要性を知り、興味を育む場、一人ひとりの取り組みかたを知る場とする。

2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える

- ・自然ネットワークの大拠点となる豊かな自然を復元する。
- ・さまざまな生き物を育む、多様な環境を復元する。
- ・川の水質改善など、自然のもつ機能を発揮させる

3) 人と人、人と自然のふれあいを育む

- ・子どもたちが、ふるさとの自然と自由にふれあえる場とする。
- ・懐かしさを感じる風景の中で、穏やかに過ごすことのできる場とする。
- ・子どもから高齢者等まで、世代を越えた様々な人々の交流の場とする。

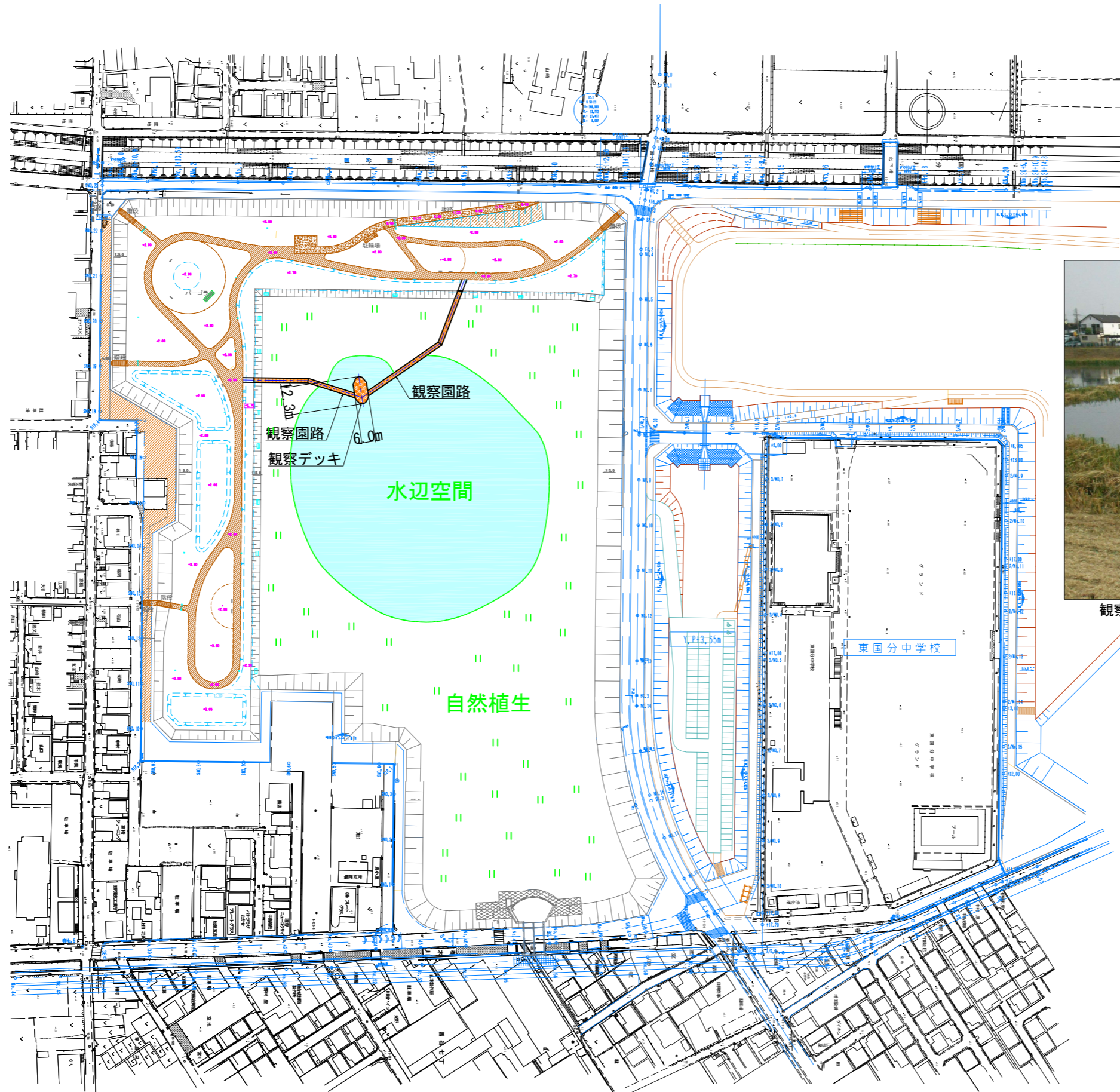
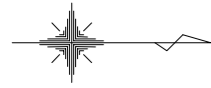
4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる

- ・市川の前風景を感じる場とする。
- ・周辺から見える緑を増やし、住環境の向上に役立てる。
- ・自然と調和する施設整備を行う。

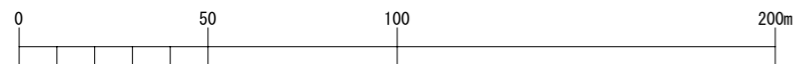
5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

- ・市民の知恵と経験を活かしつつ、市民と行政のパートナーシップに基づく管理を行う。
- ・管理費用の抑制に配慮した整備を行う。

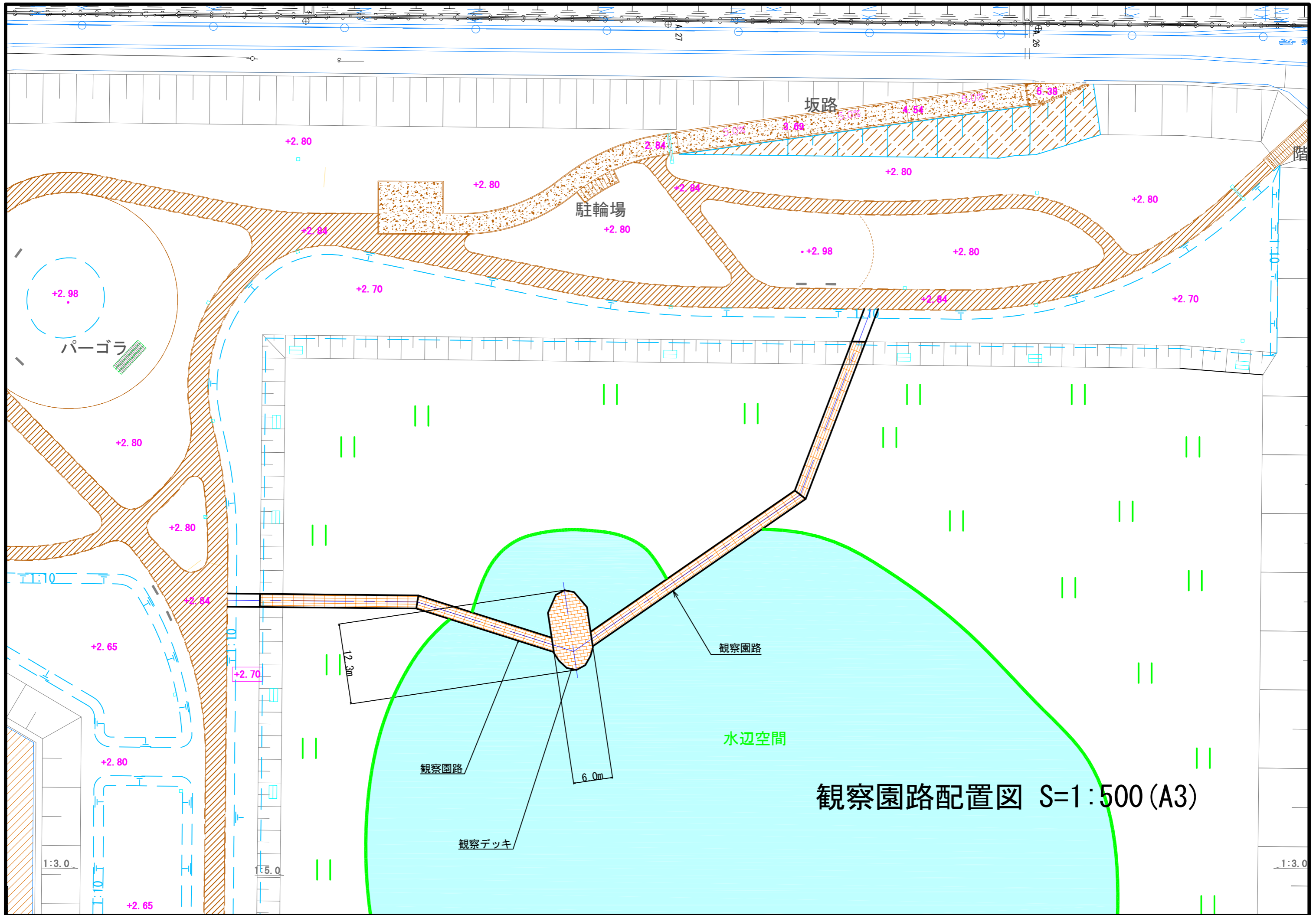
計画平面図（下池）S=1:1000(A1)（イメージ図）



観察デッキからの風景（手前が水辺空間、奥が自然植生）



業務名	計画平面図（下池）		
図面名	計画平面図（下池）		
年月日	平成29年3月		
縮尺	1:1000(A1)	図面番号	/
会社名	和合建設コンサルタント株式会社		
事業者名	市川市 公園緑地課		

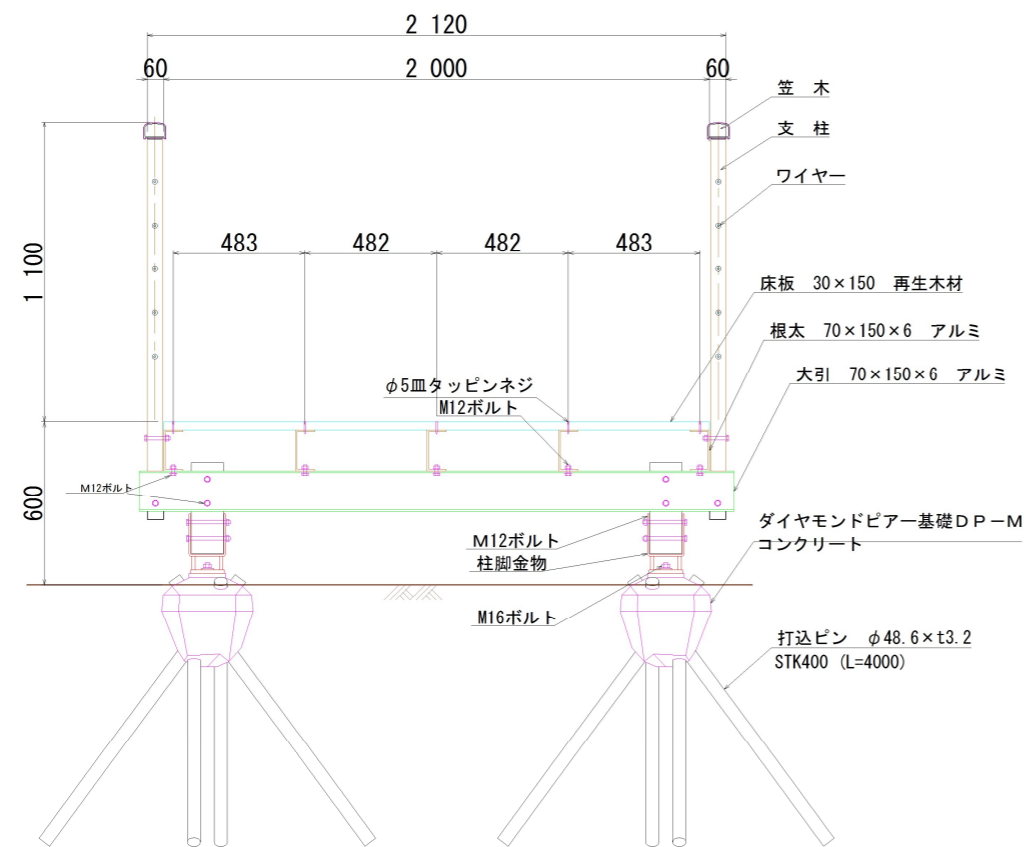


観察園路配置図 S=1:500 (A3)

観察園路整備案

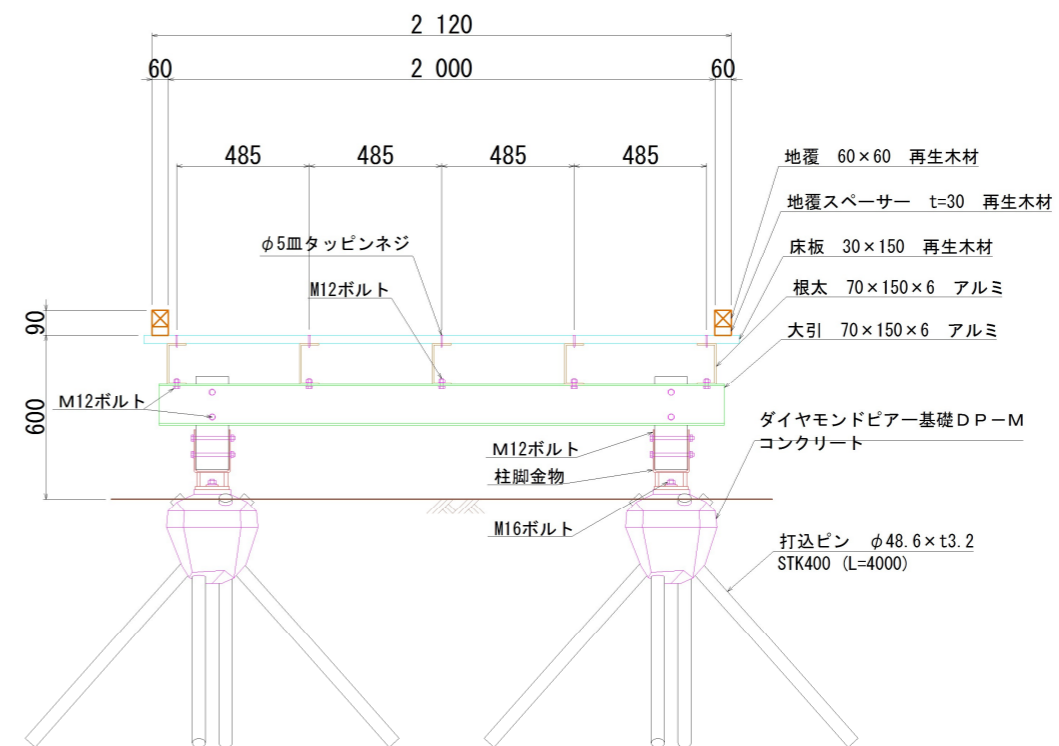
転落防止柵付き

断面図



地覆付き

断面図



イメージ写真



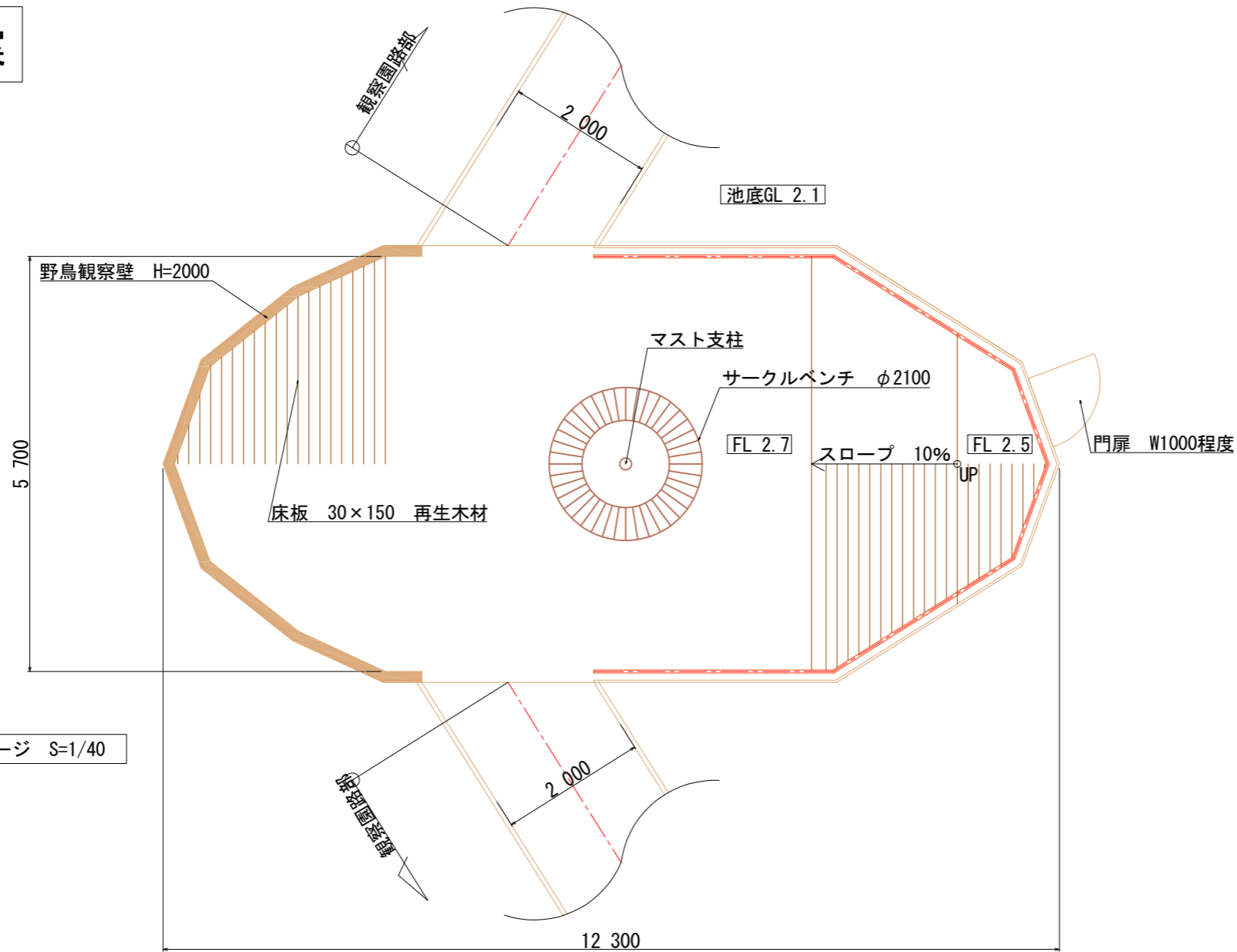
イメージ写真



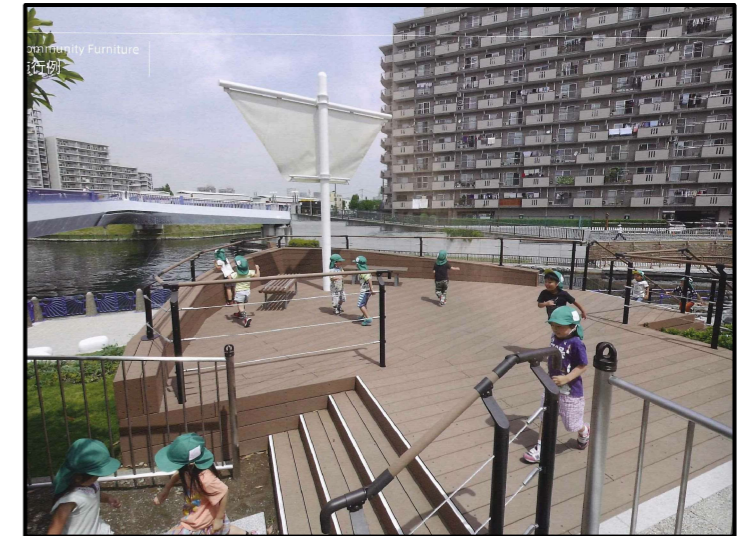
転落防止柵の構造は河川管理者と協議中であるため、変更となる可能性があります。

観察デッキ整備案

観察デッキ部 平面イメージ S=1/40

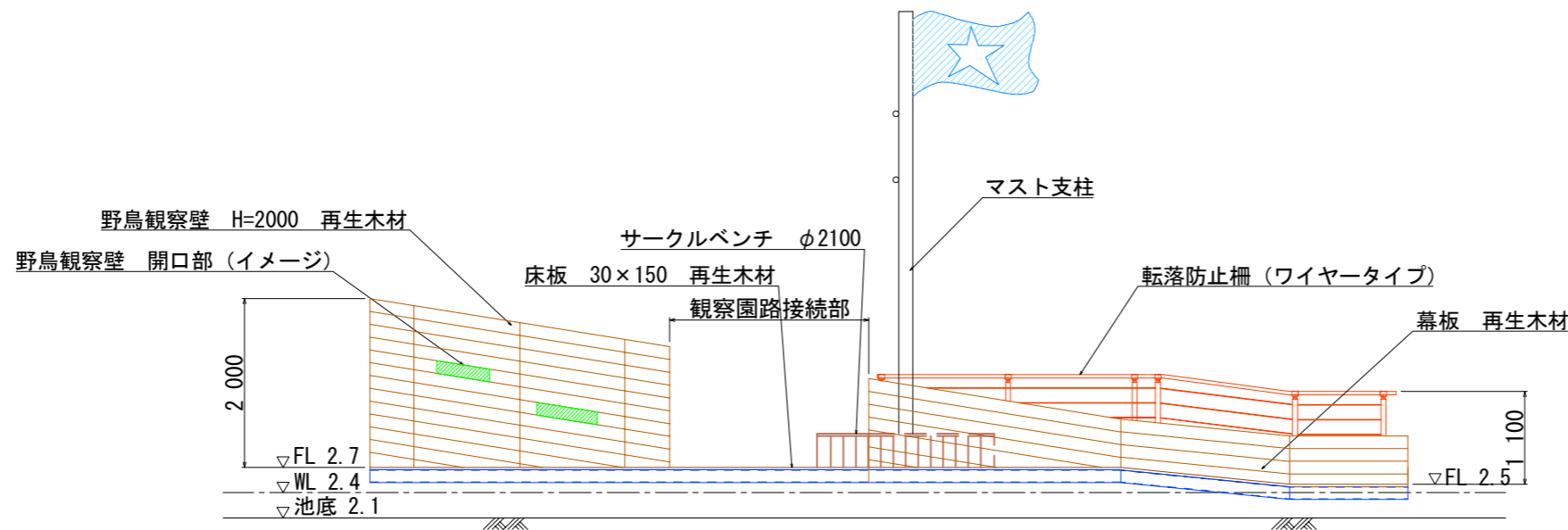


野鳥観察壁 (参考写真)



船型の観察デッキイメージ (参考写真)

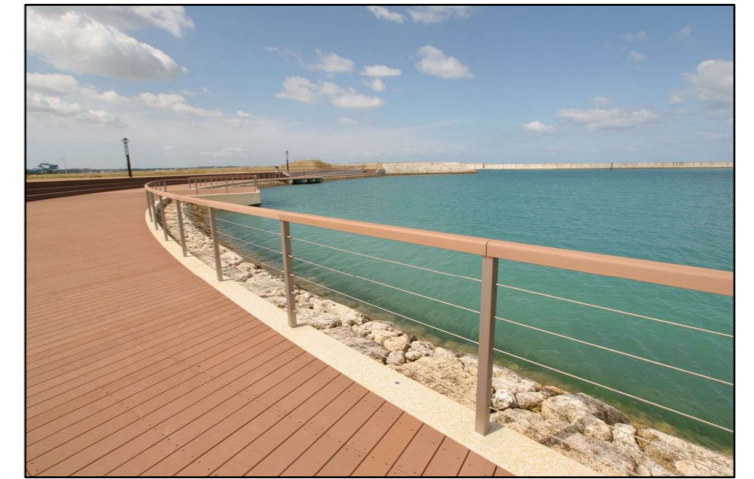
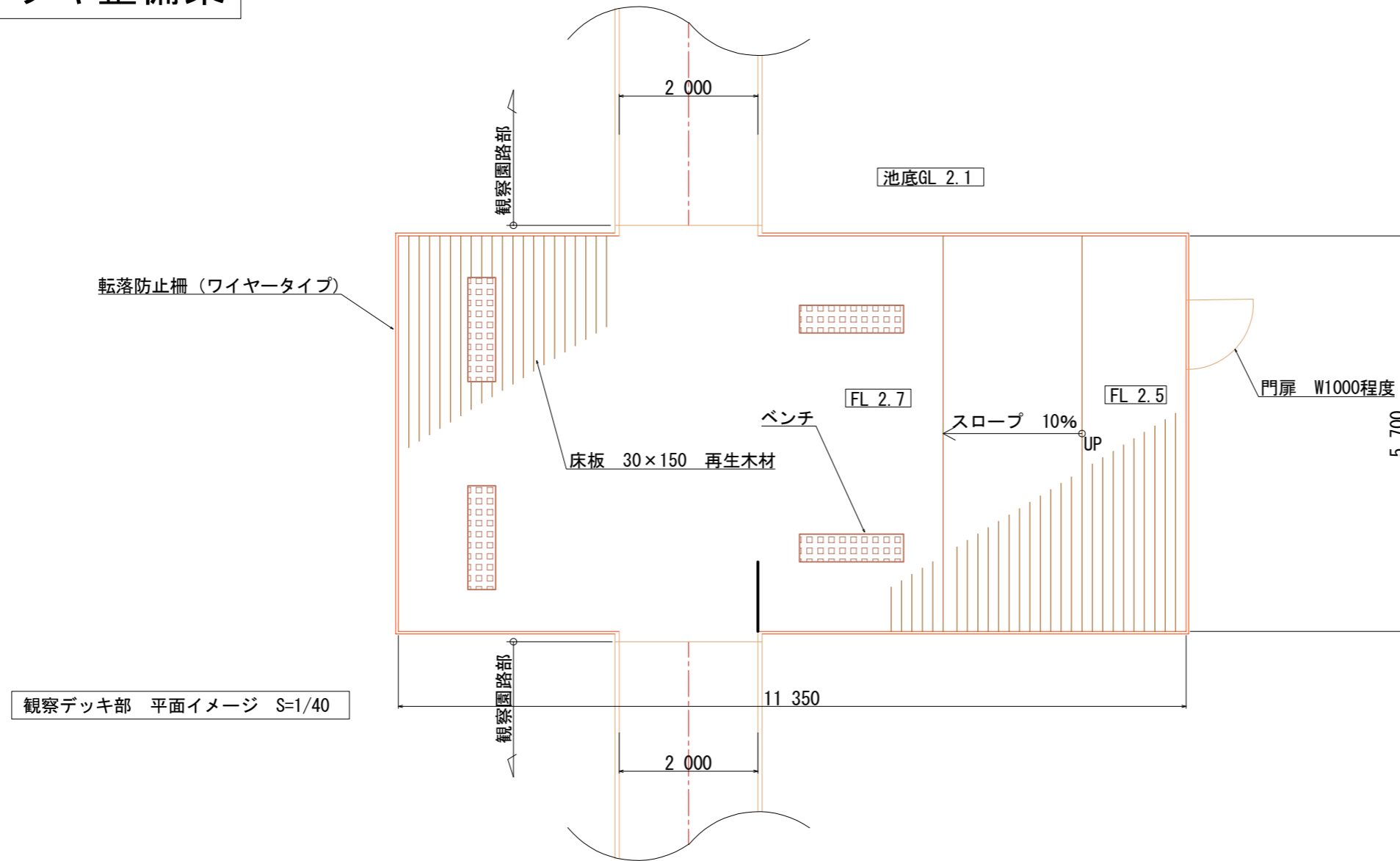
観察デッキ部 側面イメージ S=1/40



船の外観イメージ (参考写真)

観察壁・転落防止柵の構造は河川管理者と協議中であるため、変更となる可能性があります。

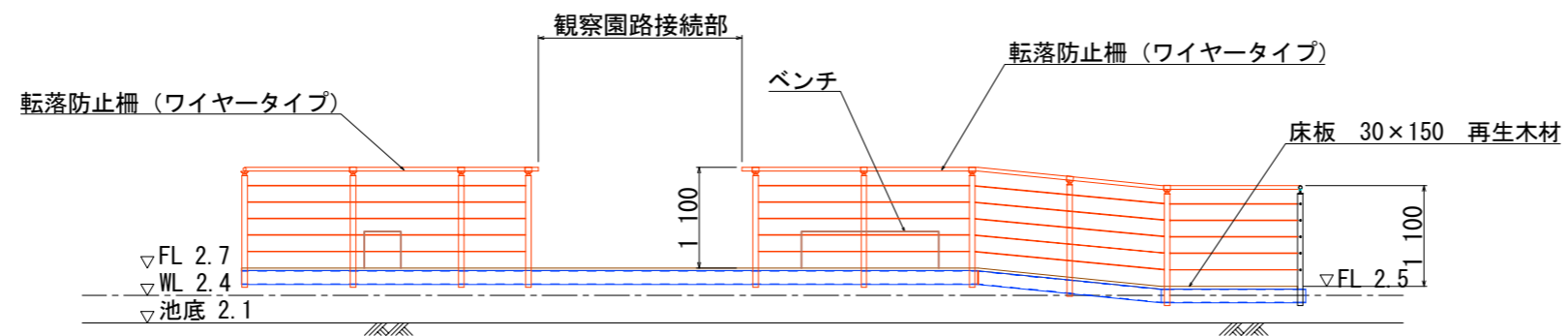
観察デッキ整備案



柵のイメージ(参考写真)



ベンチのイメージ(参考写真)



転落防止柵の構造は河川管理者と協議中であるため、変更となる可能性があります。